

平成 25 年度 第5回 甲賀市自治基本条例策定委員会 次第

日時:平成 25 年(2013 年)11 月 7 日(木)

19 時 00 分から 21 時 00 分まで

場所:サントピア水口(共同福祉施設) 教養文化室

1 開 会

2 第4回会議録の確認について

3 各グループの意見を問題群ごとに整理した一覧表について

4 次回の内容について

第6回会議

日時:平成25年11月29日(金)14時～16時

場所:市民福祉活動センター 甲賀市甲南町寺庄960

5 閉 会

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」
を目指して、この憲章を定めます。



あふれる愛に
あなたも仲間
いろどる山河と
生きいき文化
こぼれる笑顔に
応える安心
うみだす活力
受けつぐ伝統
かがやく未来に
鹿深の夢を

甲賀市自治基本条例策定委員会基本ルール

市民参加の開かれた場として、本市における市民主体のまちづくり及び市民参加の推進に資することを目的に設置された自治基本条例策定委員会を、円滑かつ効率的に運営するため、下記のとおり「基本ルール」を定めます。

1 時間を守る

時間は、全員の共有であることを自覚し、時間を大切にしましょう。

- ① 会議の開始時間、終了時間を守りましょう。
- ② 氏名を名乗ってから発言しましょう。
- ③ 一つの発言は、原則 1 分以内にしましょう。
- ④ 事情により会議に遅刻、欠席する場合は、事前に事務局に連絡しましょう。
- ⑤ 進行役は、発言者が偏らないように、公平な運営に配慮しましょう。

2 自由な発言を尊重する

委員のみなさんは、平等の立場にあるので、公平で民主的な会議の進行に努めましょう。

- ① 前向きな意見に努めましょう
- ② 一人ひとりの発言を尊重し、自分の主張を押し付けないようにしましょう。
- ③ 意見に異論があるときは、自分の意見を交えながら述べるように努めましょう。
- ④ 特定の個人や団体等の誹謗・中傷・批判は行わないようにしましょう。

3 徹底した議論を行う

結論を急がず、お互いが納得いくまで議論を深めましょう。

- ① 市全体を広い視点で見渡し、冷静に議論を行いましょう。
- ② 地域、団体の個別利益優先の立場に陥らないように配慮しましょう。

4 合意形成に向けて努力する

合意に基づく提言書づくりに向けて、全員が積極的に取り組みましょう。

- ① 少数意見も尊重しましょう。
- ② 合意した内容は尊重しましょう。

5 その他

本ルールのほかに、予測しない問題への対応や新たなルールが必要になったときは、策定委員会で検討します。

※筆記用具は各自で準備します。

馬場副委員長
(元自治振興委
員会委員)

小林委員長
(四日市大学教
授)

呉竹委員
(政策推進課長)

黄瀬委員
(社会福祉協議会副会長)

廣岡委員
(佐山地域市民センター課長
補佐)

安達委員
(チアーズ・ステーション代
表)

村上委員
(区長連合会会長)

袖口委員
(土山地域市民センター課
長補佐)

太田委員
(総務課係長)

寺田委員
(神山いい顔づくり委員
会委員)

林委員
(生活環境課係長)

谷委員
(山内地域市民センター係
長)

橋本委員
(甲南第一地域市民セン
ター課長補佐)

森島委員
(信楽地域市民センター
課長補佐)

西村委員
(商工政策課係長)

田中委員
(人材活性化運営委員)

今井委員
(社会福祉課係長)

山川委員
(みなくち自治振興会会長)

藤村委員
(綾野地域市民センター課長
補佐)

松井委員
(上水道課係長)

三浦委員
(現総合計画策定審議会委
員)

奥山委員
(甲賀大原地域市民センター
課長補佐)

大原委員
(更生保護女性会会長)

田嶋委員
(甲南第二地域市民セン
ター係長)

藤田委員
(建設事業課係長)

Aグループ

Bグループ

Eグループ

Dグループ

Cグループ

傍聴席

田原委員
(教育総務課係長)

澤田委員
(法務室長補佐)

橋本委員
(宮地区自治振興会
副会長)

徳田委員
(危機管理課係長)

田村委員
(佐山学区自治振興
委員)

古谷委員
(多羅尾地域市民セ
ンター課長補佐)

出入口

中島委員
(地域コミュニティ推進
室長)

清水委員
(地域コミュニティ推進
室補佐)

築島主査
(地域コミュニティ推進
室)

川上主査
(地域コミュニティ推進
室)

大平コーディネーター
(あいこうか市民活動・
ボランティアセンター)

宮沼コーディネーター
(あいこうか市民活動・
ボランティアセンター)

各グループの意見を問題群ごとに整理した一覧表

問題群	強み	弱み	この委員会で考えていきたいこと（条例に盛り込みたいこと）
① 自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> • 空気がよい (A) (D) • 自然が多い (A) (D) • 自然が豊か (A) (C) (E) • 住みやすい、自然がある (B) • 自然に恵まれてゆとりや余暇を楽しめるフィールドとなっている (B) • 豊かな自然を活かした遊び場がある (C) • 自然環境に恵まれている (D) • 里山がある (D) • 緑が多い (D) • そとそこ田舎 (D) (E) • 自然と生活できる (D) • 水がおいしいところ (D) • 水が豊富 (D) • 山、川が美しい (E) • 琵琶湖の水を飲んでいない (E) 	<ul style="list-style-type: none"> • せっかくの自然を活かせていない (A) • 特定外来種が発見されるようになった（セアカゴケグモ） (B) • 獣害が多い (D) (E) • 大きな川がありながら荒れている (D) • 廃屋や耕作放棄地が増えてきた (D) • 田舎 (E) 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然環境保全（ハード面は行政が担うなど、市民との対話における役割分担を明記） (A) • 自然保護 (A) • 自然を大切に守る (A)
② 歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> • 地域ごとに伝統文化が残っている (A) • 陶芸、忍者といった観光資源 (A) • 歴史的な文化、遺産がたくさんある。甲南（まがい仏・紫香樂の宮） (A) (B) (C) • 独特の文化がある（芸術・映画） (B) • 豊富な郷土史 (B) • 多種、多彩な祭礼 (B) • 地域学 (B) • 歴史、文化がある (B) (D) (E) • 寺、神社が多い (D) • 文化財が多い（仏像等） (D) • 神社、寺などの伝統行事が継がれている (D) • 地域のイベントが多い（お祭り等）大切にしたい (D) • 慣例を大切にすると＝歴史文化の継承 (E) • 土山、水口等の宿場、文化遺産が多い (E) • 旧跡を守るため、ウォーキングや勉強会を自治振興会で (E) • 奈良や京都にはない東海道を中心に隠れた文化もある (E) 	<ul style="list-style-type: none"> • 歴史、文化が活かされていない (D) • 関わっていないひとの思い (E) 	<ul style="list-style-type: none"> • 伝統文化を後世に伝える (A) • 地域の歴史文化を大切に守る (A) • 文化財を活かしたまちづくり (A) • 地域の特徴を活かした景観、文化の創出 (E) • 後継者、担い手育成 (D)

各グループの意見を問題群ごとに整理した一覧表

問題群	強み	弱み	この委員会で考えていきたいこと（条例に盛り込みたいこと）
③ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動が活発（A） ・工業団地がある（A） ・工場が多い（A） ・農林業が続いている（A） ・地産の野菜、米がおいしい（A） ・信楽焼きなどに代表される特産品がある（B） ・お茶どころ（朝宮・土山）（B） ・元気な中小企業がある（B） ・食べ物、地場産品（B） ・地域特産品がある（C）（D） ・信楽という有名な観光スポットがある（C） ・有名観光地がある（C） ・地場産業が強い（D） ・「甲賀」は知名度がある。「信楽」も知名度がある（D） ・地域資源が豊富（自然・森林・里山・歴史文化遺産・茶・陶器等）（C）（E） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業がない、企業（本社）が少ない（A）（D） ・雇用不足（A）（D） ・観光スポットを活かせていない（若い世代が行きたいと思うような）（A） ・知名度が低い（B） ・地域の資源がうまく活かされていない（C） ・経済の循環が少ない（D） ・買い物がかた（D） ・インフラ（水がない）（D） ・忍者とタヌキのみ（D） ・観光地としては中途半端（D） ・ショッピングセンターが多く、個人商店街がなくなった（E） ・周辺地と中心地の格差あり（E） ・周辺地では商店の衰退が進んでいる（E） ・観光客数が伸びていない。特に宿泊客が少ない（E） ・観光情報の発信弱い（観光戦略）（E） ・農林業の衰退化（E） 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出（企業活動の活性化、過疎対策）、行政はインフラ整備、市民は地元雇用を大切に（A） ・産業の発展（第1次から第6次までをしていける組織づくり）（A） ・商店街の活性化、行政・商工会等との前向きな協議（A） ・地場産業や文化伝統を伝承するまち（B） ・地産地消をコーディネートし、甲賀ブランドの仕組みづくりや全国的なPRを（D）
④ 道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・新名神高速道路のインターチェンジが3つもある（A）（C） ・信楽高原鉄道（B） ・新名神高速道路が通っているので、京阪神や名古屋（都市）へも行きやすい（B）（C）（D）（E） ・都会と田舎がコンパクト、ちょうど良い（B） ・道路交通の便が良い（D） ・新名神高速道路を活かしたまち、東海道、忍者、陶器、観光が良い（E） 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR電車の便が悪い（A）（D） ・コミュニティバスの運行（ルート）に不満あり（不便）（A） ・幹線道路整備が不十分（A）（B）（C） ・市の面積が広すぎて、行き来に時間がかかりすぎる（A）（B）（C）（D）（E） ・新名神高速道路の周辺整備（B） ・公共交通機関が少ない（子ども、高齢者は移動手段が少ない、自動車に頼っている）（A）（B）（C）（E） ・交通の便が悪い（B）（D）（E） ・鉄道交通の整備が進んでいない（D） ・辺地なため、県立高校に人が集まらない。東海道沿線にみんな行ってしまう（E） 	

各グループの意見を問題群ごとに整理した一覧表

問題群	強み	弱み	この委員会で考えていきたいこと（条例に盛り込みたいこと）
⑤ 施設	<ul style="list-style-type: none"> • 良い温泉がある（やっぼんぼん、大河原温泉、宮乃温泉、塩野温泉）（B） • 公立甲賀病院（B） • 運動施設がたくさんある（グラウンド）（B） • ゴルフ場が多いところ（B）（D） • 子どもや老人の方の遊ぶところが多い（D） 	<ul style="list-style-type: none"> • 公共施設の老朽化の進行（A） • 小学校が多い（A） • 市民の憩いの場がない（自然いっぱい公園など）（A） • 小児科が少ない（A） • 基本設備の不足（B） • 河川の整備が進んでいない（川の中の砂）（B） • スポーツ施設が使いにくい（B） • 人口増減合併前のままの施設が多く、統廃合が進んでいない（B） • 若者の遊び場がない（B） • 地域医療に差がある（C） • 人口の割に施設が多い（E） • 学校の統合がされていない（E） 	
⑥ 市民の特徴	<ul style="list-style-type: none"> • 人間性の良い人が多い（A） • 人情味がある（A） • いわゆる「スレ」ている人がいない（C） • 立ち上がりは遅いが協力的な人が多い（C） • このまちを良くしようという熱い思いをもった人がたくさんいる（C） • いろんな技をもった人がいる（C） • 人がやさしい（D） • 住民の質が高い（D） • 人の人情を感じる（E） • 絆や仲間意識がある（E） 	<ul style="list-style-type: none"> • 住民気質として自分たちがどんどん自発的に進める方ではない（B） • 地元根性が強い（B） • リーダーとなる人材が偏っている（C） • いろんな力を持った人がいるのに活かされていない（C） • リーダーが少ない（D） • 慣例を大切にする＝ルールがない、個の価値観が尊重されない（E） • 人の人情を感じない＝利己主義で他力本願（E） 	<ul style="list-style-type: none"> • おもてなし、まちを愛する心意気を（E）
⑦ 子ども・若者		<ul style="list-style-type: none"> • 周りに子どもが少ない（家の中にいる子どもが多い気がする）（B） • 市街地への若者流入（都市計画）（B） • 20代、30代の若者がいない（C） • 若者対策が出来ていない（C） • 若者がいない（D） • 若者の定着が少ない（E） 	

各グループの意見を問題群ごとに整理した一覧表

問題群	強み	弱み	この委員会で考えていきたいこと（条例に盛り込みたいこと）
⑧高齢者 （過疎）		<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化の地域が多い（A） ・少子高齢化が進んでいる（A） ・他市に比べて高齢化率が高い（A） ・高齢化が進み、集落の成立が難しくなっている（B） ・高齢者同士のつながり、ネットワークが十分でない地域もある（住宅団地など）（B） ・高齢者が多い（ひとり暮らしの方も多い）（B）（C） ・周辺地では高齢化と過疎化が進んでいる（C）（E） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年若いでも安心して住み続けられるまち（B） ・自治振興会等による広域的な対策（C） ・行政は仕組みづくりや支援、他は地域が主体となって取り組むといった役割分担の明確化（B）
⑨ 市の一体感	<ul style="list-style-type: none"> ・旧町でやり方が違っていたので、統一する場合に選択肢はいくつもある（A） ・旧町によって特色のあった文化が合併してもそのまま残っている（続いている）（B） ・合併前の5町の個性が活かしている（E） ・甲賀全体がブランド（E） 	<ul style="list-style-type: none"> ・一極集中になってきた（水口に集まっている。人も物も祭りも）（A） ・街の中心がなく、ばらけている。（A） ・地域間のバランスが悪い（中心部と周辺部）（A） ・合併後、人口の増・減する地域が分かれてきた（B） ・旧町の交流が少ない（C）（E） ・旧町意識が強い（C）（E） ・画一行政をしている所がある（C） ・合併時にしなくてはいけない事を今頃している（C） ・地域による格差が生まれている（D） ・生活基盤に地域格差がある（C） ・旧町の特徴が活かされていない（C） ・旧町のしがらみから抜け出していない（E） ・合併前の5町がなかなかひとつになれない（E） ・合併は良かったのか（E） ・水口ばかりが良い街になっている（E） 	

各グループの意見を問題群ごとに整理した一覧表

問題群	強み	弱み	この委員会で考えていきたいこと（条例に盛り込みたいこと）
⑩ コミュニ ティ	<ul style="list-style-type: none"> 自治振興会がある（A） 山間部では隣近所のつながりが温存している（A） 山間部では区で何事についてもある程度まとまりがある（A） 各地域の結束力がある（特に従前の区・自治会）（A） 地域愛が強い（B） スポーツが地域でよく行われている（B） 昔ながらの近所、隣どうしの助け合いがまだまだ続いている（区・自治会・自治振興会）（B） ある程度町の顔が見える（良いも悪いも）（D） 人が少ない（D） 地域としてのまとまりがある（D） 地域の顔がわかりやすい（D） 	<ul style="list-style-type: none"> 街中ではつながりが薄れてきている（A） 地域差がある（人の考え方、区・自治会のあり方、事業推進など）（A） 近所との関係がドライになってきた（B） 空き家などが多くなってきた（B） 地縁的なつながりが失われつつある（C） 公共の土地だけでなく、私有地も管理できていない（C） 地域によって差が出てきている（C） 各団体の役員が毎年、順番に回ってくる（C） 地域行事が多すぎる（D） 近所つきあいが薄い（D） 地域の関わりがわずらわしい（D） イベント等への若者の参加が少ない（D） 若者の地域参加を（E） 女性のリーダーが少ない（E） 	<ul style="list-style-type: none"> どういうまちにしたいかを個人が本気で考え、意見交換、議論ができる場を大切にしたい（E） 地域のよさをみんなが活かしていく努力が必要（E） 大切なものを子どもたちに伝えていく（E）
⑪ 行政	<ul style="list-style-type: none"> 窓口の対応が良い（B） 	<ul style="list-style-type: none"> 旧町体質が残っている（A） 個々の活動を取りまとめ、甲賀市のビッグイベントがない（A） 区長会、自治振興会の役割が不明確（A） 親子支援はあっても母支援、働くママ支援がない（A） 財源が不足しているため、補助金が削られる（A） 国歌を斉唱しない（A） 前例にとらわれすぎる（B） 資金不足（B） 鉄道沿線の開発が弱い（C） 集落が点在（C） 行政サービスの地域格差（D） 旧町の温度差がひどい（D） 窓口格差がある（D） 書類の提出が多い（E） 福祉、笑顔がない（E） 職員が上から目線（E） 市民に対して「してやっている」という職員が多い（E） 人口が増加しないということはまちづくりがまちがっているということ（E） 市街化調整区域では発展しない（E） 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事業の役割分担（A） 補助金の見直し整理（A） 子育て支援、母支援（A） 公共施設の整備、市民の集い、憩いの場所作り（A） 地元の想いを活かすインフラ整備（E）

各グループの意見を問題群ごとに整理した一覧表

問題群	強み	弱み	この委員会で考えていきたいこと（条例に盛り込みたいこと）
⑫ 市民活動と協働	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動が活発に行われている（C） 	<ul style="list-style-type: none"> せっかくの市民活動、市民に伝わっていない（A） 地域活動への支援が少なくなってきた（B） ボランティアの方の活躍の場が少ない（C） 「協働」が言葉だけになっている（C） 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援、協働（A） 区と自治振興会のすみ分け（A） 青少年（子ども）のまちづくりの参画（B） 協働による役割分担（どこまで責任を持つか）（C） 協働はどういった人が担うのか、あるいは受け手なのか（C） 地域のよさを引き出すためには、市民をはじめ多様な主体と今、協働をしていくとき（E）
⑬ 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害が少ない（A）（D） 比較的、安全・安心な街である（A） 災害が少なく暮らしやすい（B） 地域のつながりが強いので、子どもたちの安全対策等が協力してもらいやすい（B） 災害対策（設備・マニュアル等）（B） 安全への取り組み（B） 情報基盤整備により各戸に音声スピーカーがあり、災害対策が進んでいる。（B） 		<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えたまちづくり（B） 行政と市民の役割分担による対策（B）
⑭ 人権			<ul style="list-style-type: none"> 人権を大切にする（思いやりの気持ちを育てる）（A） 人権意識の高揚（A）
⑮ 教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育熱心である（A） 	<ul style="list-style-type: none"> 大学・専門学校がない、少ない（A） 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにとって魅力があり、住み続けたいと思えるまち（B）
⑯ 個人情報			<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の扱い方（ルールとは何か）（D）
⑰ 国際	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流が進んでいる（E） 		
前文に			<ul style="list-style-type: none"> 日本国民として、そして甲賀市民としての自覚と誇りを持つ（A）